

## 令和6年度京都府中学校体育連盟の取組

### 1 組織：京都府中学校の単位体育連盟の中の加盟連盟をもって組織する（規約第5条）

役員	氏名	所属	勤務校	役員	氏名	所属	勤務校
会長	☆杉本 清彦	山城	槇島	理事	木下 亮	丹後(京丹後)	大宮
副会長	☆野川 晋司	京都市	桂		中村 利之	京都市	下京
	☆川口 研一	口丹波	詳徳		大崎 浩	京都市	桃山
	☆松林周一郎	中丹	白糸		栗林 洋平	京都市	春日丘
	☆藤原 英一	丹後	丹後		増田 翔太	京都市	二条
	☆上田 良一	乙訓	寺戸		片山 典子	京都市	藤森
理事長	☆北村 眞也	山城(宇治)	西宇治		天野 健吾	京都市	下鴨
副理事長	☆岸本 卓也	京都市	西院	庶務	風間 拓也	口丹波(南船)	美山
	☆風間 拓也	口丹波(南船)	美山	会計	西川 寿	山城(相楽)	精華西
	☆土田 真司	中丹(福知山)	南陵	研究	土田 真司	中丹(福知山)	南陵
	☆九鬼 誠	丹後(与謝)	宮津	競技力	木下 亮	丹後(京丹後)	大宮
	☆井寄 聖	山城(城久)	北城陽	報告書	増田 翔太	京都市	二条
理事	鹿野 恭平	山城(乙訓)	長岡三	事務局	浅野 勇人	府教委保健体育課内	
	平館 一馬	山城(綴喜)	田辺	監査	中村 聡	山城(城久)	南城陽
	西川 寿	山城(相楽)	精華西		片岡 真澄	京都市	八条
	松本 貞治	口丹波(亀岡)	大成				
	相見 貴志	中丹(綾部)	綾部				
	四方 晃平	中丹(舞鶴)	青葉				

☆は常任理事

日本中体連	評議員	杉本 清彦				
近畿中体連	副会長	杉本 清彦	副理事長	北村 眞也	監事	野川 晋司
	理事	貫井 みさき (京都府教委中体連担当指導主事) 橋本 剛太 (京都市教委中体連担当指導主事) 岸本 卓也・浅野 勇人				

### 2 目的：京都府における中学校体育の健全な発展を図る（規約第3条）

事業：目的達成の為に、次の事業を行う（規約第4条）

- (1) 体育に関する講習会・研究会の開催
- (2) 各種競技会の開催
- (3) 体育に関する調査・研究及び発表会の開催
- (4) 体育用具の研究
- (5) その他目的の達成に必要なと思われる事業

3 令和6年度の事業

(1) 府中体連関係（会議関係）

月日	曜日	場 所	内 容
5/1	水	京都テルサ	第1回役員会・第1回理事会 令和5年度事業・決算報告 令和6年度組織・事業・予算等の決定
5/16	木	口丹波勤労者福祉会館	第2回理事会・第1回理事・専門委員（代表）合同会議 専門委員長の決定、令和6年度府総体についての説明 近畿総体第1回京都府実行委員会
6/11	火	京都府公館	近畿総体第1回京都府実行委員会事務局会議 近畿プロ編会議、第4回理事会について
6/20	木	京都市総合教育センター	第3回理事会・第1回理事・専門委員長合同会議 令和6年度府総体要項審議 近畿総体第2回京都府実行委員会
7/12	金	文化パルク城陽	近畿総体第3回京都府実行委員会 近畿プロ編会議、総合開会式最終確認
9/27	金	京都テルサ	第4回理事会・第2回理事・専門委員長合同会議 府・近畿・全国大会反省と府駅伝・スキー・スケート要項審議・最終確認 近畿総体第4回京都府実行委員会
11/28	木	京都市総合教育センター	第1回臨時拡大理事会 令和7年度全国中学校体育大会への地域クラブ活動の参加について
2/20	木	京都府公館	第5回理事会・第3回理事・専門委員長合同会議 本年度の総括と次年度の計画
3/4	火	京都ガーデンパレス	近畿総体第4回京都府実行委員会

(2) 府中体連関係（事業関係）

月日	曜日	場 所	内 容
7/24～30	水	京都府各地	京都府中学校総合体育大会
9/7～10/19	土	京都市・宇治市	同 ラグビーの部（吉祥院・山城）
11/10	日	京丹波町	同 駅伝競走の部（丹波自然運動公園周辺コース）
1/4～6	土	長野県	同 スキーの部（野沢温泉スキー場）

(3) 近畿中体連関係（会議関係）

月日	曜日	場 所	内 容
5/2	木	大阪・ホテルウイナー	第1回理事会 令和6年度組織・事業・予算等決定
5/28	火	大阪・ホテルウイナー	第2回理事会 第1回専門部総会 近畿中学校総合体育大会について
8/1	木	京都 文化パルク城陽	第3回理事会 第2回専門部総会 要項審議及び決定・プログラム編成会議
8/4	日	京都・都ホテル京都八条	第4回理事会 近畿大会最終確認及び功労者表彰
11/30	土	京都・山城総合運動公園	第5回理事会 地域スポーツ団体等の参加の特例について 令和9年度全国中学校体育大会（近畿ブロック開催）について
2/25	火	大阪・ホテルウイナー	第6回理事会 第3回専門部総会 本年度の総括と次年度の計画

(4) 近畿中体連関係（事業関係）

月 日	曜日	場 所	内 容
8/5～10	月	京都府各地	近畿中学校総合体育大会
10/27	日	山城総合運動公園	近畿中学校総合体育大会ラグビーフットボールの部
11/3・10	日	たけびしスタジアム京都	
11/30～ 12/1	土	山城総合運動公園 園内コース	近畿中学校総合体育大会駅伝大会
1/19・20	月	兵庫県・神崎高原スキー場 神崎高原カントリークラブ	近畿中学校総合体育大会スキー大会 ※中止

(5) 日本中体連関係（会議関係）

月 日	曜日	場 所	内 容
6/6	木	TKPガーデンシティPREMIUM 品川高輪口	(公財) 日本中体連定時評議員会
10/11	金	TKPガーデンシティ神保町	(公財) 日本中体連実務全国担当者会議
3/6	木	アジュール竹芝	(公財) 日本中体連臨時評議員会

(6) 日本中体連関係（事業関係）

月日	曜日	場 所	内 容
8/17～25	土日	北信越ブロック	全国中学校体育大会
11/21・22	木金	石川県 ホテル金沢	(公財) 日本中学校体育連盟研究大会石川大会
12/14・15	土日	滋賀県・野洲総合体育館 滋賀県・近江文化公園芝生ランド	全国中学校駅伝大会開会式 全国中学校駅伝大会
2/1～4	土火	長野県・長野市	全国中学校体育大会スケート大会
2/4～7	火金	長野県・野沢温泉村	全国中学校体育大会スキー大会

(7) 運動部活動指導者研修会

令和6年11月25日（月）：京都府総合教育センター

※ハイブリッド形式で開催

(8) 中学校・高等学校体育連盟連携会議

令和6年11月25日（月）：京都府総合教育センター

(9) 令和6年度第41回（公財）日本中学校体育連盟研究大会（石川大会）

令和6年11月21日（木）・22日（金）：ホテル金沢

参加者 中体連役員5名

(10) 令和6年度京都府競技力向上対策本部事業 第12回コーチングセミナー

<全体講義>

「ジュニア期だからこそ知っておきたいピラティス ～しなやかな心と体に～」

講師 手井 紗也加 氏

参加者 約40名

令和6年12月7日（土）：山城総合運動公園 多目的ジム

<実技>

参加者 約50名

・ソフトボール

令和6年11月30日（土）：京都市立洛南中学校

講師 木田 京子（園田学園女子大学）

・剣道

令和7年2月1日（土）：城陽市民体育館

・バスケットボール

令和7年3月9日（日）：京都市立北野中学校

・陸上競技

令和7年1月18日（土）：山城総合運動公園

(11) その他

①（公財）京都府スポーツ協会理事（会長）・評議員（事務局長）・競技力強化委員会委員（理事長）

・（公財）京都府スポーツ協会理事会

・（公財）京都府スポーツ協会評議員会

・（公財）京都府スポーツ協会競技力強化委員会

・国民体育大会結団式（会長）

・府民総体オープンフェスティバル式典（会長）

②京都新聞ジュニア・スポーツ賞選考委員（理事長）

・京都新聞ジュニア・スポーツ賞選考会議

③京都府スポーツ推進審議会委員（会長）

・京都府スポーツ推進審議会

④京都府競技力向上対策本部常任委員（会長）

京都府競技力向上対策本部委員（筆頭副会長）

・京都府競技力向上対策本部総会

・パワフル京都推進大会

⑤京都府スポーツ賞授賞式（会長）

4 令和6年度のまとめ

(1) 成 果

① 令和6年4月に「熱中症特別警戒アラート」の運用に伴い、本連盟としても熱中症についてのガイドラインを再度、検討し、作成した。大会においても、各専門部や各選手の対策により、大きな事故なく終えることができた。

② 新型コロナウイルス感染症の影響により、中止をしていた開閉会式について、不要な点を削除するなど、各専門部の状況に応じて、ある一定整理し、実施を再開することができた。

③ 全国中学校体育大会（夏季大会）では、団体において、京都精華学園中学校の女子バスケットボール部、京都光華中学校女子ソフトテニス部が優勝するなど、4競技で5団体が入賞を果たした。個人では、与謝野町立

江陽中学校陸上競技男子走り高跳びで優勝をはじめ、5競技で9名が入賞を果たした。また、駅伝大会では、京都光華中学校女子駅伝部が5位の好成績を収め、個人では、3名が入賞を果たした。

- ④ 令和6年度第73回近畿中学校総合体育大会が京都で開催されるにあたり、熱中症対策、競技規定、予算面等、近畿中体連の他の府県と連携し、課題も多くあったが、開催競技については、大きなトラブル等なく、終えることができた。
- ⑤ 令和7年度についても今年度同様に、全国中学校体育大会に地域クラブ活動が参加するにあたって、京都府中学校体育連盟として、臨時拡大理事会を開催し、京都府の各地区・ブロックの実情を共有し、京都府中学校体育連盟主催大会への地域クラブ活動の参加資格の特例等を検討し、作成できた。
- ⑥ 持続可能な部活動を目指し、複数校合同チーム、拠点校部活動、部活動指導員、外部コーチ等、各校の実態に合わせ、柔軟な対応ができた。

## (2) 課題

### ① 持続可能な運動部活動

京都府内全域において、年々生徒数が減少している。それに伴い、各校の部活動設置数も同様に減少している。さらに各校における入部率も減少傾向にある。本連盟としても救済措置として複数校合同チーム、拠点校部活動の対応を取っているが、学校間の距離や指導者の不足等の課題は残る。さらには、設置部活動の未経験顧問の割合は44.8%にも及び、部活動指導員や外部指導者等の活用で補ってはいるが課題は大きい。

### ② 令和6年度以降の京都府総合体育大会における地域クラブ活動の参加について

府総体に地域クラブ活動が参加できるようになり、2年目を迎え、登録等の手続に関しては、ある一定の理解が浸透してきたに思えるが、部活動の地域移行等により、各地区の状況が年々変化している状況であるため、共通理解とともに、府中体連の規定についても変化に対応していく必要がある。

### ③ 予算の見通し

令和5年度より分担金を増額したが、今後も続く、生徒数の減少による分担金の減少、物価の高騰、会場費、特に空調費の高騰、減免対象からの除外、地域クラブ活動の参加、消費税の増額の可能性等を踏まえると、令和10年度までに非常に逼迫した状況に陥ることが予測される。そのため、各地区からの分担金の金額や徴収方法等も検討していく必要がある。